

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	2	・子ども達同士がトラブルにならないよう体操道具の設置を考える等工夫している。
	2	職員の配置数は適切であるか	6	1	・配置基準は満たしているが、子ども達の特性によっては、手厚く配置したいと思う時がある。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	7		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	6	1	・発熱者の静養スペースやパニック児の別室などあれば尚良し
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	6	1	・評価制度を取り入れており、各職員が目標を設定し取り組んでいる
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7		・スタッフ間で情報共有し、試行錯誤しながら改善に努めている。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7		
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		7	・今後取り入れるようにしていきたい。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7		・全事業所が集まり情報共有等もやっている。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	7		
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6	1	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	6	1	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	7		
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7		・体操、療育ともに職員間で意見を出し合い作成してる。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7		
16	【放課後等デイサービス】 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	7		・休日は利用者が少ないと出来る事(課題)も増えるので、決めやすい。 ・より充実したプログラムになるよう工夫している。	

	17	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	6	1	・集団療育をメインにプログラムを設定しているが、子どもの特性や状況によって、集団で取り組むには療育の効果が薄れると感じる分野もある。同じプログラムでありながらも、子どもそれぞれに応じた個別対応を現在では取り入れている。
	18	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7		
適切な支援の提供	19	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6	1	・その日あった児童間の様子やトラブルについて話し合いなど行っている。
	20	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7		
	21	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	6	1	
	22	【放課後等デイサービス】 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	7		
関係機関や保護者との連携	23	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7		・各児童担当者が参加している。
	24	【放課後等デイサービス】 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	6	1	・学校や保護者の協力のもと調整を図れています
	25	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	6	1	・保健士の方に見学に来てもらったり、今後より一層連携を図っていけるようにしている
	26	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合） 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか		7	・医療ケア児の受け入れは行っていない。
	27	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合） 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか		7	・医療ケア児の受け入れは行っていない。
	28	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	4	3	・積極的に関係機関と情報共有を図ったり会議を設けていますが、利用児童全ては網羅できていないのが現状。今後も積極的に連携する機会を設けていきたい ・参観週間を設け、関係機関の職員が事業所に足を運びやすい機会を設けている
	29	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	4	3	・保護者様の許可を得ながら、小学校進学後に情報共有を図る機会を作っているが、今は一部にとどまっている。 ・参観週間を設け、関係機関の職員が事業所に足を運びやすい機会を設けている
	30	【放課後等デイサービス】 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	1	6	・現在、障害福祉サービス事業所へ移行する年齢の児童が通所していないため、情報を共有する機会はない。今後、そのようなケースも見込まれるので、途切れなく支援が受けられるように準備をしていきたい。
	31	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	3	・連携が不十分だと感じる ・利用児童が併用する事業所などを確認しながら、横のつながりを増やしていきたい
	32	【放課後等デイサービス】 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	6	・施設外活動として児童館などに行く機会を今年は数回設けました。障害のない子ども達と何か一緒にという活動は設定できませんでしたが、次年度は計画していきたいです。
33	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	6	・保育園等の先生たちに来て頂き情報共有も含め交流を図ることもあるが、子どもたちも含めたインクルージョンを目指したい。	
34	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	4	3	・時間があれば参加したい。 ・療育時間と重なることが多く、職員を派遣できないことがある。	

	35	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7		・送迎時にその日の様子を伝えている。
	36	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	2	5	・保護者様に対する支援の充実を図っていけるようにしている
保護者への説明責任等	37	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7		
	38	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	5	2	・ガイドラインのねらい及び支援内容と事業所内で作成する支援計画の関連性について説明するという点で不十分さがあると感じられる。保護者様に、十分説明できるように精査していきたい。
	39	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7		・面談を行い、保護者からの要望などを聞くことが出来ている。
	40	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	7		・保護者同士や先生を交えたグループワークを行い、話し合う場を設けた。
保護者への説明責任等	41	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7		
	42	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7		・毎月お便りを発行している。
	43	個人情報の取扱いに十分注意しているか	7		
	44	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	6	・これまで実施したことがない。地域の人を招待する機会や行事を検討していきたい。
非常時等の対応	46	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	7		・周知の部分では不十分と思われる 内容も定期的に確認し、最新の情報・対応に適したものにしていく必要がある
	47	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7		・年2~3回おこなっている
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	5	2	・定期的に確認していきたい
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6	1	・療育にてクッキングを行う際は保護者に聞き取りしている。
	50	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	3	4	・事例集を作成していない。職員間での口頭での情報共有をきちんと書面で作成し、今後の業務に活かすようにしていく。
	51	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7		
	52	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	6	1	・現在、利用児童に身体拘束が必要な児童はいないため、意識していなかった。個別支援計画作成時や面談のときなど、保護者と情報共有をはかり、記載していくようにする。